

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

東京に本社は移さない いわきで頑張る

江尻 義人 (ハニーズ社長)

1. 福島県いわき市にハニーズの本社がある。同社は流行を意識した若い女性向け洋服の SPA(製造小売)として快進撃を続けている。社長の江尻義人はこの静かな町で、15 坪の店からビジネスをスタート。そしていわき市を本拠地にしたまま約 30 年間で約 750 店舗、売上高 543 億円、東証一部上場のファッション企業を作り上げた。
2. ハニーズの作る服は、流行の要素を取り入れながらも、平均単価が 1598 円と格安なのが大きな特徴だ。購買層は 10 代、20 代の女性で「流行に関心はあるが洋服にそれほどお金をかけない人」だ。江尻は語る。「多くの女性は、普段着れる、感度のいい服が欲しいんですよ。ウチで作ってきたのはそんな服です。いくらよいものでも、地方で都会と同じ価格帯で商品を並べても売れない。地方でも都会と同じく流行に乗った服は売れる。しかし、地方では安くしなければ売れない」という現在のビジネスにつながるヒントをつかんだ。
3. 価格にこだわる江尻は「もっと安く売る」ために、製造に乗り出す。流行を作り出すようなデザイナーは東京に住んでいる。ハニーズはデザイナー達を毎週、東京に通わせ流行を観察させている。「デザインさえつかめれば、他のことは全ていわきでできる。いわきは東京と比べて、人件費も土地代も安い。東京に本社を移そうと考えたことなど一度もない」と江尻は語る。

(参考:「日経ベンチャー」2007 年 10 月号)

経営者のための危機管理

心配なモノ作り大国日本

山田 日登志 (PEC 産業教育センター所長)

1. 「モノ作りは人作り」とは、製造業に携わる経営者からよく聞く言葉だが、どういう上司だから、いやどういう先生だから人が育つのかの研究をすることなく、教育の機会均等とか 40 人学級が叫ばれたり、平等神話がはびこっている。昔は小学校しか出ていない者が多くても社会の秩序は保たれ、物質的には恵まれていなかったが、職業に誇りをもつ大人、目の輝く人、生きるよろこびで早く大人になりたい子供がたくさんいた。
2. あの高度成長時代の豊かさと共に始まった「とりあえず高校・大学に入れていこう」というサラリーマンの親と文部省(現文部科学省)が呼応し、速成の先生を多くして高校・大学を増設し、造りすぎた大学が倒産の危機に怯えている。日本を代表する某モノ作り企業に入社する新卒者の 6 割が大学院卒の時代で、若い時に現場で鍛えられたという人はもうこれからは一人も製造業には生まれないのだろうと思われるほど、心配なモノ作り大国日本ができそうである。

(参考:「WEDGE」:2007 年 11 月号)

人事・労務について

東京は超格差社会

1. 東京都を中止とする首都圏の中小企業(従業員 300 人未満)に勤務する人と、愛知県の中小企業に勤務する人との年収を比較すると、東京都の人が低いことがわかった。理由の一つは愛知は製造業に携わる人が約半分だが、東京は流通業などのサービス業に従事する人が約 4 割いる。次に勤務年数が短いこと。東京は愛知の約半分で 35 歳で勤続年数が 5 年未満の人が大量にいる。
2. 転職が当たり前になっていて、少しでもよい条件を求めて会社を変ろうとしている人が多いが、逆に転職しても給料が上がるとは限らない。要は東京は大企業が多く、高所得者のエリートがいっぱいいる一方で、中小企業に勤務する低所得者もわんさという超格差社会なのだ。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2007 年 10 月 6 日号)

古典に学ぶ

かんなん
艱難あれば

「薬物は、甘の苦中より生ずる者多く効あり。人も亦艱苦をえつれき閱歴すれば、則ち思慮しりよ自ら濃かにして恰も好く事を済ます。此れと相似たり」

(訳) 薬で甘味が苦味の中から出るものに多く効がある。人も亦艱難すると考えが自然に細かく行き届き、事を成就する。

(参考:佐藤一斎「言志四録」:PHP文庫)